

千葉大学高大連携支援室

TEL : 043-290-3526

FAX : 043-290-3962

E-mail : koudairenkei@office.chiba-u.jp

URL:<https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/>

-
- 【1】 第10回科学の甲子園全国大会千葉県代表決定
 - 【2】 JSEC2020（第18回高校生・高専生科学技術チャレンジ）受賞者発表
 - 【3】 第23回数理科学コンクールを開催
 - 【4】 第14回高校生理学研究発表会をオンラインで開催
-

【1】 第10回科学の甲子園全国大会千葉県代表決定

第10回科学の甲子園千葉県大会が、令和2年11月7日、千葉県総合教育センターで開催されました。渋谷教育学園幕張高等学校チームが優勝し、千葉県代表として全国大会に出場することが決定しました。おめでとうございます。

全国大会は、次のとおり開催される予定です。

(1)開催日 令和3年3月19日(金)～21日(日)

(2)場所 つくば国際会議場、つくばカピオ

詳細は、次のWEBサイトをご覧ください。

<https://koushien.jst.go.jp/koushien/index.html>

【2】 JSEC2020（第18回高校生・高専生科学技術チャレンジ）優秀賞発表

JSEC2020の最終審査会が12月12日(土)、13日(日)、オンラインで開催されました。応募総数217組の応募研究作品から、一次審査を経て32組がファイナリストとして選出され、最終審査会に臨みました。千葉県からは2組がファイナリストとして出場、渋谷教育学園幕張高等学校の組(チーム)が朝日新聞社賞、千葉市立千葉高等学校の組(個人)が審査委員奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

詳細は次のWEBサイトをご覧ください。

<https://manabu.asahi.com/jsec/>

【3】第23回数理学コンクールを開催

千葉大学先進科学センター主催、第23回数理学コンクールが11月28日（土）、29日（日）に開催されました。

数理学コンクールは、例年7月に千葉大学を会場に開催していますが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から通常開催を取り止めました。今回のコンクールは、課題の部を個人参加のみを対象とし、課題と参考教材を参加者の自宅に郵送、2日間かけて自宅で解答してもらう方法で実施しました。定員50名のところ応募は47名、解答は40名でした。

表彰及び問題の解説は、令和3年2月を目途に先進科学センターのWEBサイトで行う予定です。

<https://www.cfs.chiba-u.ac.jp/events/math/>

【4】第14回高校生理学研究発表会をオンラインで開催

第14回高校生理学研究発表会が、令和2年12月21日（月）から同年12月28日（月）の8日間オンラインで開催されました。コロナ禍での開催でしたが、募集定員400件のところ、359件の申込みがあり、第13回の申込最多数385件には達しなかったものの、一昨年と同数の申込み件数となりました。

実施方法は、オンライン会議システム LINC Biz ポスターセッションプランを採用し、音声解説付きスライドをMP4形式にした資料を掲示、これを閲覧してもらい、質疑応答はメッセージ投稿のやり取りで行うオンデマンド方式で行われました。

なお、発表会開催に伴い、千葉県の理数教育に多大な貢献をされてきた2名と、高校生理学研究発表会に長年ご尽力を頂いている11名に指導者表彰が授与されました。

なお、研究発表の表彰は、今回は行いませんでした。

【朝日新聞者教育総合本長賞】

阿部 敬 （千葉県立船橋高等学校）

野村 真一 （千葉県立木更津高等学校）

【教育功労賞】

福島 孝治 （東京大学大学院総合文化研究科）

山内 正剛 （国立研究開発法人放射線医学総合研究所）

田中 元 （秀明大学学校教師学部）

福田 啓一 （花王株式会社スキンケア研究所）

金子 博 （東邦大学理学部）

櫻井 佳成 （千葉県立八千代西高等学校）

石井 賢治 (千葉県立君津高等学校)
渡邊 千知 (習志野市立習志野高等学校)
山田 裕二 (千葉県立千葉東高等学校)
對馬 浩二 (船橋市立船橋高等学校)
沼田 知紘 (千葉県立千城台高等学校)

【編集後記】

コロナ禍にあっても白物家電の売れ行きは好調なようで、2020年の出荷額は1996年以来24年ぶりの高水準だったと聞く。我が家でもこの1年に、テレビ、エアコン、ストーブ、シャワートイレ等々の入れ替えをしている。新しい製品を購入すると、先ず、取り付けや取り扱いの説明書を見るが、このトリセツが以前と比べて随分と解りやすくなったと感心している。図を多用して簡潔な言葉で表記されており、概要を把握するのに多くの時間はいらぬ。白物の場合、その機能はすでに解っていることが多いこともあるだろうが、最近では、PCやスマホのトリセツも実に簡潔なものとなった。確かに、買い換えをしても、ほとんど説明書を見ないで使用している。

今回、高校生理科研究発表会を初めてオンラインで開催するにあたり各種要項を作成した。簡潔にすると説明不足に、詳細にすると見通しが悪くなる。なかなか白物家電のトリセツのようにはいかない。(佐)